

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
12041	心理学	各2単位 前・後期	1~4	講義	松田 盛雄 (客)

■テーマ 人間行動科学としての心理学の基礎知識を習得する

■授業概要

本講義では、人のこころや知能の発達、学習の成り立ち、性格形成や社会性の成長、精神病理と心理療法など、心理学に関する知識全般について概説する。具体的教材を活用して分かりやすく心理学の各領域を紹介し、心理学のおもしろさに触れてもらう予定である。社会的評価の高い表現芸術の心理学的理解や、また、マスコミ等で社会の耳目を集めた犯罪や社会事象についての心理学的解釈を紹介することで、心理学の幅広い活用を学ぶ予定である。加えて、自分自身に対する「気づき」を深め、自身のストレス解消や対人関係の改善に役立てられるよう授業を構成する。

■到達目標

- ・心理学の基礎知識を学ぶことを通して、人の社会活動全般について科学的に理解することができる。
- ・知識を自己理解や他者理解に繋げ、また、人と人の関係性や社会活動に対する客観的視点を身につける。
- ・心の病及びその予防法や治療法について学び、大学生活への適応促進に役立てる。

■授業計画・方法

1. 心理学とは何か・心理学の誕生とこれまでの歩み
2. 脳と感覚・知覚のメカニズム
3. 知能の発達と学習の心理学
4. 感情と欲求、動機づけの心理学
5. 性格についての心理学①(性格理論について)
6. 性格についての心理学②(性格テストの活用)
7. 「人の一生」にまつわる発達心理学
8. 男と女をめぐる心理学
9. 社会と人間関係、集団の心理学
10. 子どもと家庭の心理学①(親と子の関係)
11. 子どもと家庭の心理学②(不適應の問題)
12. 深層心理の世界
13. 心の病気と治療の心理学①(いろいろな精神障害)
14. 心の病気と治療の心理学②(現代に特徴的な心の病と治療)
15. 授業のまとめ(大学生活への適応とストレス)及び期末試験

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・講義はシラバスに沿って進めるので、教科書の該当章を予習し理解した上で講義に参加すること。
- ・講義では教科書に示された知識を発展させた最近の研究や教科書で扱っていない領域を付加する形で行うので、予習をきちんと行うこと。
- ・講義用レジュメや参考資料を多く配布するのでファイルにして活用すること。
- ・課題レポートを科すので、指示に従って作成し締め切り日までに提出すること。

■成績評価の方法・基準

□方法 評価は、平常点 (10%)、レポート (30%)、定期試験 (60%) などを総合的に判断して行う。平常点は授業への参加状況で判断する。レポートはコンピュータを使用して作成し提出する。

□基準 「到達目標」を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□教科書

『図解で分かる 心理学のすべて』 深掘元文編著 日本実業出版社 2014年 (教科書販売日に購入する。)

□参考文献 (資料)

『人間理解のための心理学』 中城進著 北大路書房 2014年

『ワークショップ 人間関係の心理学』 藤本忠明他著 ナカニシヤ出版 2006年

『ワークショップ 大学生生活の心理学』 藤本忠明他著 ナカニシヤ出版 2014年